

マイクロコンピュータ技術情報

技術通知 μPD780958 サブシリーズ用 インサーキット・エミュレータ IE-780958-NS-EM4 使用制限事項の件		発行番号	ZBG-CD-05-0015号	1/2
		発行日	2005年 3月 25日	
		発行元	NEC エレクトロニクス株式会社 第四システム事業本部 汎用マイコンシステム事業部 開発ツールグループ	
文書分類	<input type="radio"/> 使用制限事項	バージョンアップ	ドキュメント誤記訂正 (正誤表)	その他
関連資料	IE-780958-NS-EM4 ユーザー・マニュアル		資料番号: U16266JJ2V0UM00	

CP (K), 0

1. 対象製品

IE-780958-NS-EM4 管理記号^注: A, B, C

2. 制限事項

今回、No. 11~No. 13 の制限事項が追加されました。詳細は、別紙を参照して下さい。

3. 回避策

詳細は、別紙を参照して下さい。

4. 改善計画

制限事項 No. 11~No. 13 について大変申し訳ございませんが、修正は行わず、恒久的な制限事項とさせていただきます。

5. 制限事項一覧

添付の別紙をご参照ください。

注) 管理記号は、10桁の製造番号(シリアルNo.)の左から2桁目に表示されています。
バージョンアップを行っている場合は、バージョンアップラベルが本体に貼ってあり、
その中に記載されている V-UP LEVEL X の X が管理記号になります。

6. 発行文書履歴

インサーキット・エミュレータ
IE-780958-NS-EM4 使用制限事項一覧

文書番号	発行日	記事
ZBG-CD-05-0015	2005. 3.25	新規不具合事項追加 (No.11 ~ 13) 書式変更のため全面改訂

以上

IE - 780958 - NS - EM4 使用上の注意

1. 製品バージョン

管理記号	備考
A	-
B	-
C	-

注) 管理記号は、10桁の製造番号(シリアルNo.)の左から2桁目に表示されています。
バージョンアップを行っている場合は、バージョン・アップ・ラベルが本体に貼ってあり、その中に記載されているV-UP LEVEL XのXが管理記号になります

2. 製品履歴

No.	仕様変更・追加/不具合事項	管理記号		
		A	B	C
1	WDTOUT端子の端子回路不具合	×		
2	ウォッチドック・タイマの制限事項			恒久的な制限事項
3	ターゲット電源を検出しない不具合	×		
4	ウォッチドック・タイマの不具合	×		
5	サブ・システム・クロックの仕様変更	-		
6	ウォッチドック・タイマ・リセット・モードの制限事項			恒久的な制限事項
7	サブシステム・クロックの制限事項			恒久的な制限事項
8	WDCSの表示値に関する制限事項			恒久的な制限事項
9	RESET端子の回路条件によりハングアップする不具合		×	
10	LIPS0のエミュレーション制限事項			恒久的な制限事項
11	クロックの停止、切り替えに関する制限事項			恒久的な制限事項
12	マスク・オプションのエミュレーション制限事項			恒久的な制限事項
13	ソフトウェア・ブ레이크に関する制限事項			恒久的な制限事項

× : 該当する : 該当しない(仕様追加) - : 仕様追加未対応

3. 不具合及び仕様追加事項の詳細

No.1 WDTOUT端子の端子回路不具合

【内容】WDTOUT端子は対象デバイスがN-ch.オープン・ドレイン端子ですが、CMOS+5Vで出力します。

【回避策】回避策はございません。

上記の不具合は管理記号Bで修正しております。

No.2 ウォッチドック・タイマの制限事項

【内容】ウォッチドック・タイマのベクタ・テーブル・アドレスが02Hになります。

【回避策】ベクタ・テーブル・アドレスの02H, 04Hの両方に同じデータをライトしてください。

表4-2 ウォッチドック・タイマのベクタ・テーブル・アドレスの値

	対象デバイス	エミュレータ
ウォッチドック・タイマのベクタ・テーブル・アドレス	0004H	0002H

No.3 ターゲット電源を検出しない不具合

【内 容】VDD端子(ターゲット・システムの電源電圧)の印加を検出できません。

【回避策】エミュレータ内部電源(+5V)を使用してください。

上記の不具合は管理記号 B で修正しております。

No.4 ウォッチドック・タイマの不具合

【内 容】ウォッチドック・タイマで割り込み要因INTWDT(ウォッチドック・タイマのオーバフロー)のノンマスカブル割り込みが発生しません。

【回避策】回避策はございません。

上記の不具合は本製品の管理記号 B 以降, IE-78K0-NS-P02 の管理記号 D 以降及び DF780958 の V1.01 以降で修正しております。

No.5 サブ・システム・クロックの仕様変更

【内 容】管理記号 B より, サブ・システム・クロックの発振器周波数を 32.000kHz から 65.5360kHz に変更しました。

No.6 ウォッチドック・タイマ・リセット・モードの制限事項

【内 容】ウォッチドック・タイマでのリセットは, ターゲット・システム接続時に有効となります。

【回避策】統合デバッグ起動時のコンフィグレーション・ダイアログにて Voltage を Target に設定してください。

恒久的な制限事項とさせていただきます。

No.7 サブシステム・クロックの制限事項

【内 容】サブシステム・クロックを外部クロックに選択した場合, サブシステム・クロック(外部クロック)は 1/2 に分周されます。

【回避策】回避策はございません。

恒久的な制限事項とさせていただきます。

No.8 WDCS の表示値に関する制限事項

【内 容】SFR レジスタ WDCS(FF42H)の表示値が常に 00H となります。

動作上は問題ありません。

【回避策】恒久的な制限事項とさせていただきます。

No.9 RESET端子の回路条件によりハングアップする不具合

【内 容】RESET端子を 100Ω 以上でプルアップした場合, デバッグを起動すると, エミュレータのリセット入力¹が Low レベルとなり, ユーザ・プログラム実行時とデバッグがハングアップします。

【回避策】回避策はございません。

上記の不具合は管理記号 C で修正しております。

No.10 LIPS0 のエミュレーション制限事項

【内 容】LCD 駆動用電源の供給のエミュレーションができません。

SFR レジスタ LIPS(FF90H.4)の設定にかかわらず, 常に「LCD 駆動用電源を供給する(LIPS0=1 と同じ状態)」になります。

【回避策】回避策はございません。

恒久的な制限事項とさせていただきます。

No.11 クロックの停止, 切り替えに関する制限事項

【内 容】対象デバイスではメイン・クロックの停止命令によりメイン・クロックを停止させることができますが、エミュレータでは停止しません。

また、下記のようにメイン・クロック停止中、CPU クロックをサブ・クロックからメイン・クロックに切り替えた場合、対象デバイスではメイン・クロックが停止中のため CPU クロックの切り替えは行えませんが、エミュレータではメイン・クロックが動作しているため CPU クロックの切り替えが行えてしまいます。

SET1	PCC.4H	←CPU クロックとしてサブ・クロック選択
SET1	PCC.7H	←メイン・クロック停止
CLR1	PCC.4H	←CPU クロックとしてメイン・クロック選択

【回避策】回避策はございません。

恒久的な制限事項とさせていただきます。

No.12 マスク・オプションのエミュレーション制限事項

【内 容】マスク・オプションの内蔵プルアップ(P60-62)がエミュレーションできません。

対象デバイスにはマスク・オプションとして内蔵プルアップ(P60-62)機能がありますが、エミュレーションができません。

【回避策】エミュレーション時にはターゲット・システムにプルアップ抵抗を実装してください。また、エミュレーション後はプルアップ抵抗を外してください。

恒久的な制限事項とさせていただきます。

No.13 ソフトウェア・ブレークに関する制限事項

【内 容】割り込み要求発生により参照するベクタ・アドレス(分岐先のアドレス)にソフトウェア・ブレークを設定した場合、割り込みによる分岐先が不正値となり、“Fetch Guard”の要因でブレークが発生してしまいます。

【回避策】ハードウェア・ブレークをご使用ください。

恒久的な制限事項とさせていただきます。

4 . 注意事項

4-1 DF780958 との組み合わせ注意

DF780958 V1.00 には以下の不具合事項が存在しますので、V1.01 をご使用ください。

- ・ UART2 の受信割り込みが発生しません。

4-2 本製品の取り扱いに関する一般的な注意事項

a. 製品保障外となる場合

- ・ 本製品をお客様自身により分解，改造，修理した場合
- ・ 落下，倒れなど強い衝撃を与えた場合
- ・ 過電圧での使用，保障温度範囲外での使用，保障温度範囲外での保存した場合
- ・ 電源，PC インタフェース・ケーブル，ターゲット・システムとの接続が不十分な状態で電源を投入した場合
- ・ 電源のケーブル，PC インタフェース・ケーブル，エミュレーション・プローブなどに過度の曲げ，引っ張りを与えた場合
- ・ システム構成で記載されている電源以外を使用した場合
- ・ 本製品を濡らしてしまった場合
- ・ 本製品の GND とターゲット・システムの GND に電位差がある状態で本製品とターゲット・システムを接続した場合
- ・ 本製品の電源投入中にコネクタやケーブルの抜き差しを行った場合
- ・ コネクタやソケットに過度の負荷を与えた場合

b. 安全上の注意

- ・ 長時間使用していると，高温（50～60 程度）になることがあります。低温やけどなど，高温になることによる障害にご注意ください。
- ・ 感電には十分注意をしてください。上記，a.製品保障外となる場合

以 上